

# 東藤島こうみんかんだより

●人口 3,608人(男1,776 女1,832) ●世帯数 1,320戸 (令和5年5月1日)  
令和5年6月10日 福井市藤島町48-1-1 東藤島公民館 TEL54-0039 hfujik@mx1.fctv.ne.jp

## 「おもてなし講座」

“花いっぱい運動が盛んな東藤島”を継続させ、「おもてなし」を意識した活動を行う学級「おもてなし講座」は本年度で9年目を迎えました。

1回目の4月27日の学級では、サルビアやマリゴールド、ジニアなど夏花壇用の花の種まきをしました。プラグトレイ1穴に小さな種を一粒ずつ入れる細かい手作業でしたが、9年目ともなると手慣れたものです。遮光シートをかけ、発芽までは土の表面を乾燥させないように水やりをし、育苗していきます。

2回目の5月2日の学級では、春花壇の手入れとして、キンセンカの花がらを摘んだり、カンナの球根を植えつけたりしました。

今年も「仕事は大勢」を合言葉に、地区内外の多くの方をおもてなししたいと思います。おもて

なし講座は、まだまだ参加者募集中です。体験型の楽しい学級ですので、一緒に花の名前や特徴を学習しながら心を癒してみませんか？参加を希望される方は公民館までご連絡ください。



## 環境教育事業

令和2年度から公民館横の休耕田を利用し、普段育つ様子を観察しにくい綿などの植物や郷土料理にかかせない作物を子どもから大人までみんなで栽培しています。これは、栽培や収穫、収穫物の活用などを通して環境について考える学級であり、今年も企画していく予定です。今年は綿・赤ズイキ、ショウガ、サツマイモなどを育てる計画です。

5月20日には、初めての試みとして、林町にある足羽福祉会「カラフル」の利用者の方々と一緒に、

お手伝いいただいた地区の方々に植え方を教わりながら、紅あずまと安納芋の苗を植え付けました。秋の収穫が楽しみです。

公民館近くをお通りの際は、ぜひ育っていく様子を観察してみてください。また、随時体験学習の募集をしていますので、栽培・収穫体験や収穫物を使った作品作りや調理実習などには気軽にご参加ください。



火の用心 花火のしまつ かくにんだ 東藤島小児童作品

公民館休館日 6月12日(月)・18日(日)・19日(月)・26日(月)  
7月3日(月)・10日(月)

## 福井市総合防災訓練を実施します

6月25日(日)午前8:00から

午前8:00になりましたら、一斉にサイレンが鳴ります。それぞれの自治会で決められた場所へ避難行動をとってください。

あなたの参加が地域を救う！  
みんなで参加しましょう！

東藤島アーカイブ

## 東藤島小学校創立150周年

東藤島小学校は、令和5年3月に創立150周年を迎えました。そこで、150周年を記念して、小学校では「はばろう」と名づけたキャラクターを作成するなどして、全校挙げてお祝いをしました。



はばろう

職員玄関横の「沿革の抄」

の碑には、“明治6年3月に藤島・原目・大和田の3小学校が開校”と記されており、これが東藤島小学校の始まりとなります。

明治21年には藤島小学校と原目小学校が合併し上中小学校となり、大和田小学校が敬進小学校と改称されました。

その後国民学校を経て、昭和23年3月には、吉田郡東藤島村東藤島小学校が一村一小学校として設置されました。発足当時の児童数は、510名だったそうです。

時が進み、藤岡村を経た東藤島村は、昭和36年に福井市へ編入されました。それに伴って校名も「福井市東藤島小学校」と改称され現在に至っています。東藤島小学校の卒業生はこの3月までで4,480名、前身の小学校を含めると約1万名にもなるようです。



開校100周年記念碑「堂雪之里」

昭和51年には開校100周年記念式典が盛大に行われ、記念碑や記念誌が作成されました。その記念誌は、東藤島小学校を振り返る貴重な資料となっています。

地区の皆様には、東藤島に関する過去の資料がありましたら、公民館に紹介いただくと幸いです。

(参考：東藤島小学校百年史 昭和54年3月発行)

## ふれあいサマーデー2023は 7月29日(土)実施予定です!

内容や日程については、只今企画を練っているところです。後日配付のチラシをご覧ください。

重点目標 あいさつ・国旗掲揚・環境美化



## くらしの提言

# 駐在所だより

◎令和6年4月採用の警察官募集(大学卒)

|         |                                               |
|---------|-----------------------------------------------|
| 受験資格    | 平成5年4月2日以降に生まれた者で、大学を卒業または令和6年3月31日までに卒業見込みの者 |
| 申込書配布開始 | 4月25日(火)                                      |
| 受付期間    | 5月18日(木)~6月19日(月)                             |
| 一次試験    | 7月9日(日)                                       |
| 二次試験    | 8月上旬                                          |

・詳しくは福井県警察ホームページ  
(<https://www.pref.fukui.lg.jp/kenkei/>)  
または福井県警察採用フリーダイヤル  
(電話0120-207-110)をご利用ください。

・新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、試験の日程、場所などが変更される場合があります。

◎採用案内パンフレットおよび受験申込書は藤島駐在所でも配布しています。必要な方はお立ち寄りください。

## ☆外出時には必ず施錠を!

農作業などで外出する機会が増える時期ですが、家を空ける際には必ず玄関などの鍵をかけましょう。

また、外出先で車から離れる際にはドアをロックし、外から見えるところに荷物を置かないようにしましょう。

泥棒はちょっとした隙を狙っています。不審者や不審な車を見たら、迷わず110番通報してください。

## 防犯パトロール

6月17日(土)午後7時~午後9時

福井警察署 ☎52-0110

## 移動図書館



## 「あじさい号」巡回日

7月5日(水) 11:00~11:20

# スポーツ協会コーナー

日頃より、スポーツ協会の活動につきまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

第74回市民スポーツ大会が5月27日から7月28日まで開催されます。第2部総合優勝を目指して14競技にエントリーをし、選手、監督、役員を含め大選手団を送り出します。

## 応援よろしくをお願いします。

### 参加種目

- 軟式野球男子
- ソフトボール男子
- バレーボール女子
- ソフトバレーボール(シルバーの部)混合
- ゲートボール混合
- ソフトバレーボール(一般の部)混合
- ソフトテニス男子
- バドミントン男子
- 卓球男子女子
- 陸上男子女子
- 水泳男子
- ボウリング男子女子
- インドアカ男子
- マレットゴルフ男子
- スティックリング男子



## 「蘭教室」

“花が咲いていたランの鉢植え、いつの間にか咲かなくなってしまった…”。そんな方のために、今年も蘭の育て方教室を開きました。

第1回目の教室(4月14日)は、株分けの仕方を実際に作業しながら体験し、その後、水遣りや肥料のタイミング・温度管理や日光の当て方などについて学習しました。

参加された方からは、「昨年も聞いて帰り、万全と思っていたけれど、ダメでした。足りなかった事について今日聞いたので、今年こそ万全!」と思います。「参加して実際に見ることで、植え替えてみよう、育てほしいと感じました。」「蘭の魅力がだんだんわかってきました。」などの感想をいただきました。



福井市東消防署

# 東分署からのお知らせ

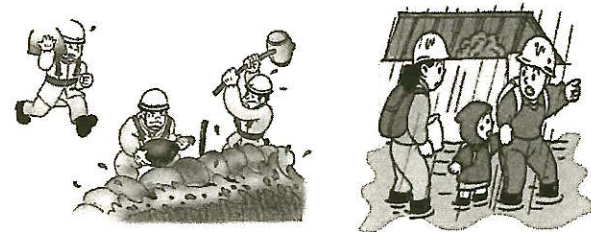
## 水災害への備えはできていますか?

近年、全国的に水害が多発しており、甚大な被害も発生しています。幸いにも東藤島地区は、比較的、水害の少ない地域ですが、いざという時のために万全な備えをしておきましょう。



- あらかじめハザードマップ(被害予想地図)を確認し、洪水等の災害が起こりやすい箇所を確認する
  - 避難用に非常持ち出し袋を準備する
  - 天気予報で大雨情報・集中豪雨の情報を収集する
  - 洪水・浸水・冠水情報をリアルタイムにチェックする
  - 屋外避難が難しい時は建物の2階以上へ避難する
  - 川、用水、溜池、田んぼに近づかない
  - マイタイムライン\*の作成→「いつ」「誰が」「何をするのか」整理することで、自分に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し、「自分の逃げ方」を事前に確認しましょう。
- \*マイタイムライン…台風や豪雨などの水害に備え、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせてあらかじめ時系列で作成する避難行動計画のことです。

自分の身を守る行動いいネ!



【お問い合わせ】  
福井市東消防署東分署  
福井市大和田1丁目102番

☎57-0119

火災、救急は「119番」へ  
正しい「119」番通報をお願いします。



# 子どもたちに残したい 美しい日本の歌



おかあさん 田中 ナナ 作詞  
中田 喜直 作曲

- 1 おかあさん  
なあに  
おかあさんて いいにおい  
せんたくしていた においでしょ  
シャボンのあわの においでしょ
- 2 おかあさん  
なあに  
おかあさんて いいにおい  
おりよりしていた においでしょ  
たまごやきの においでしょ

『おかあさん』は、おかあさんと子どもとの間の単純な会話だけで成り立っているながら、愛情に満ち溢れた歌です。詩人の田中ナナ(大正14~)と音楽家の中田喜直(大正12~平成12)のコンビで創られました。昭和36年度のNHKラジオ番組「お茶のひととき」で放送されると、幼児教育の場で広く歌われるようになります。国語の詩教材として教科書に掲載されていた時期もありました。

一番を食べ物のにおいにせず、シャボンのにおいにしたところがユニークです。昭和30年代は、白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫の《三種の神器》が一般家庭に普及しました。主婦が洗濯板とタライからようやく解放された時代性が反映されています。二番のたまごやきは、今も昔も子どもの大好物です。ただ、この歌ができたころは、鶏卵1個の値段がおよそ10円前後もしていました。大卒の初任給が16500円の時代でしたから、たまごやきは大変なご馳走だった、ということになります。

時代背景も大きく変わりました。今なら《洗濯や料理は女だけの仕事か》と批判されるかもしれませんが、同じ作曲者が詩人の江間章子と組んだ『おかあさん』(昭和39)という歌もあります。

【エピソード】この歌は、小さいころからずっと、私から母へのコミュニケーションをとる一つの方法なんです。例えば、母が家事をして忙しそうだけど、私はなんとなく寂しくて、母にかまってほしいとき、「おかあさん」と歌いながら呼ぶと、母はいつも「ななあに?」と歌って返してくれました。ほかに、ケンカをして、なかなか普通にしゃべれなかったときも、私が歌うといつでも歌って返事をしてくれました。要するにこの曲は、私から母への「かまってほしいコール」なのです。だから私は、この曲が大好きだし、ぜひともこれからの子どもたちにも、そうやってお母さんとコミュニケーションをとってほしいと思ったので、この曲を選びました。(10代 女性)

参考資料:「親子で歌いごう日本の歌百選」(文化庁編)